

文献

- 岩田正美 (2005) 「政策と貧困」 岩田正美・西澤晃彦 (編) 『貧困と社会的排除: 福祉社会を蝕むもの』 ミネルヴァ書房, pp. 15–41.
- 木下是雄 (1981) 『理科系の作文技術』 中央公論新社.
- 国府田晶子 (2004) 「絵本と対話による「読み書き能力」の育成: JSL 教育を必要とする定住型児童を対象に」 『早稲田大学日本語教育研究』 5, pp. 61–75.
- 高橋英光 (2010) 『言葉のしくみ: 認知言語学のはなし』 (北大文学研究科ライブラリ I) 北海道大学出版会.
- 上田智司 (2002) 『くらしの法律相談 7 損害賠償・慰謝料の知識と Q&A』 (改訂版) 法学書院.

注釈

- 並び順: Iwata → Kinoshita → Koda → Takahashi → Ueda。なるべく本人が使っているローマ字つづりを確認する。
- 各文献の 2 行目以降は 2 文字下げる。Microsoft Word では [書式] → [段落] で最初の行を「ぶら下げ」にする。
- 「」内に「」が入る場合も、二重カギ括弧などにする必要はない。なるべく原文のタイトルの表示そのままを書く。
- 副題が付いている場合はコロン (:) で区切る
- 版表示は『……慰謝料の知識と Q&A [改訂版]』のようにしてもよい
- 版・刷が複数ある場合、どの出版年を採用するか
- ページ範囲には、ハイフン (-) ではなく半角ダッシュ(-) を使う。Microsoft Word では [挿入] → [記号と特殊文字] → [特殊文字] で入力できる
- pp. の後は半角スペースを入れる
- 各文献の最後はピリオド
- シリーズ名は省略してもよいし、表題の一部と考えて『北大文学研究科ライブラリ I 言葉のしくみ……』のようにしてもよい。
- 木下 (1981) は『理科系の作文技術』 (中公新書) のようにシリーズ名を注記してもよい。出版年が 1981 なのに出版社を「中央公論新社」とするのは矛盾であるが、やむをえない。

木下是雄 (2002) 『理科系の作文技術』 (46 版) 中央公論新社。
のように書く手もある。